



まちだの新たな 学校づくり通信

Machida New School Project 2040

2023年2月6日発行

鶴川東・西地区

1頁 検討会報告書

2頁 質問と回答

ともに学び、ともに育つ学び舎づくりを目指して

【発行】町田市教育委員会

議論した内容をまとめました!

鶴川東・西地区新たな学校づくり基本計画検討会 報告書

鶴川東・西地区新たな学校づくり基本計画検討会では2022年1月以降、それぞれの地区で全12回にわたって以下の事項について検討を行ってきました。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1 通学負担の軽減 | 6 歴史の継承 |
| 2 通学路の安全対策 | 7 育てたい子ども像 |
| 3 施設整備内容 | 8 学校運営協議会・ボランティアコーディネーター |
| 4 子どもたちへの配慮 | 9 PTA（保護者と教職員による組織） |
| 5 新たな学校名（案） | 10 校歌・校章 |

2023年1月27日（金曜日）に、これまでの検討結果を教育委員会に報告いただきました。報告を踏まえて教育委員会では、鶴川東・西地区の新たな学校づくりを具体的かつ計画的に進めるために、それぞれの地区の「町田市新たな学校づくり基本計画」を2022年度内に策定し、春ごろに説明会を開催する予定です。



鶴川東地区新たな学校づくり基本計画検討会委員の皆さん



鶴川西地区新たな学校づくり基本計画検討会委員の皆さん



左から 若月会長（本町田地区）木下会長（南成瀬地区）
坂本教育長 鱒坂会長（鶴川東・西地区）安東会長（南一小地区）

「新たな学校づくり基本計画検討会
報告書」はこちらから！



【鶴川東地区】



【鶴川西地区】

新たな学校づくりについて知りたいことがたくさん！

これまで寄せられた質問と回答を紹介します！

皆さんから寄せられた質問と回答を紹介します。なお、町田市ホームページでは、「新たな学校づくり」にお寄せいただいた質問と回答を掲載しています。

Q.新しい学校名は何になりますか？

A.新しい学校名（案）について皆さんから寄せられたご意見とそこに込められた想いを踏まえて、検討会では3案を選定しました。

鶴川東地区

■鶴川東^{※1}小学校 ■鶴川坂の上小学校 ■鶴川みどり小学校

鶴川西地区

■鶴川西小学校 ■鶴川中央小学校 ■鶴川つるの台^{※2}小学校

※1 「鶴川」、「東」のいずれかが平仮名も可

※2 「鶴の台」も可

今後、教育委員会で最終案を選定します。2023年度以降に学校設置条例の改正を行い、学校名を決定します。新しい学校名は2026年4月から使用する予定です。

Q.学童やまちともはどうなりますか？

A.どちらも新たな学校において児童が安全・安心に過ごせるよう、適切な環境の整備を進めていきます。また、建替え期間中においても、既存の学校施設を活用し、必要なスペースを確保していきます。

Q.特別支援学級はどうなりますか？

A.鶴川西地区においては、2026～2028年度の間、現在の鶴川第四小学校に設置している「知的障がい特別支援学級」及び「自閉症・情緒障がい特別支援学級」を、通常の学級と同様に現在の鶴川第三小学校に移設します。2029年度以降の新校舎では、鶴川東・西地区とも、「知的障がい特別支援学級」及び「自閉症・情緒障がい特別支援学級」の設置を予定しています。

Q.新校舎ができるまでの間、鶴川二小に建てる仮設校舎（鶴川東地区）や、仮校舎になる鶴川三小（鶴川西地区）の環境はどのようなものですか？

A.鶴川東地区の仮設校舎には、必要な施設数を確保し冷暖房等も整備します。仮設校舎を使用したことがある子どもや学校からは、建物内の環境は通常の学校と変わらないとのお声を頂いています。

鶴川西地区の仮校舎となる現在の鶴川三小は、これまでの環境を生かしながら、統合時の児童数などを踏まえて必要な施設数を確保できるよう整備します。

Q.通学路の安全対策はどのような検討を行っていますか？

A.通学路安全点検などで道路管理者、交通管理者とともに安全対策を行っていることから、基本的には現在の通学路を活用することを想定しています。このため検討会では、新たに通学路となることが想定される通学路の接続箇所を中心に、実際に現地を歩いて状況を確認しながら検討を行いました。今後は、安全対策の実施に向けた調整を進めていきます。



ご意見・ご質問は右にある
二次元バーコード又は
町田市ホームページから!!



【新たな学校づくり
に関するQ&A】



【ご意見・ご質問等
提出フォーム】

